

班番号	
-----	--

津波避難とくらしに関するワークショップ ワークシート

日時:平成 30 年 2 月 24 日
場所:室戸市佐喜浜生活改善センター

高知県危機管理部
南海トラフ地震対策課

1 はじめに

地震は、いつどこで起こるかわからないことを前提に備えることが大切です。

一方で、昨年 11 月から、「南海トラフ地震に関連する情報」の運用が始まり、気象庁が、南海トラフ沿いで大規模地震発生の可能性が高まった場合に発表します。

国では、この情報が発表された際の新たな防災対応について検討することとしており、その参考とするために室戸市と黒潮町のモデル地区で検討することになりました。

2 ワークショップの目的と視点

不確実ではあるが、大規模地震発生の可能性が高まったという情報を活用して、「どうすれば少しでも人的被害を軽減することができるか」という視点で議論していただきたいと考えています。

- どのような人が「南海トラフ地震に関連する情報」が発表された際に避難すると良いか
- この情報が発表された場合に、あなたはどのような行動をとるのか(とりたいのか)
- できるだけ負担感を感じないで避難するために、どのような準備及び支援が必要か

第一回 概要説明と地区の課題の洗い出し

第二回 グループワーク(4月下旬予定)

第三回 課題のとりまとめ(5月中旬予定)

3 ワークショップで検討する地震の状況

ワークショップで新たな防災対応を検討するにあたっては、以下のケースを想定しています。

○ 検討する地震の状況

(「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応のあり方について(報告)」より)

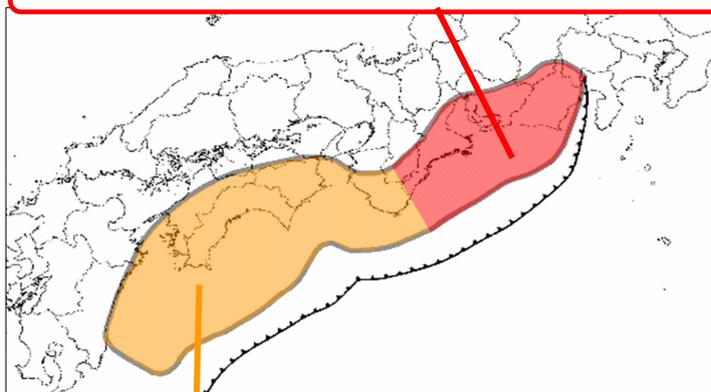
- 静岡県沖でM8の地震発生。東海地方で震度7を観測。
- 高知県を含む太平洋沿岸に大津波警報発表。
- 室戸市は震度4。

※ 直近2事例では、南海トラフの東側の領域で大規模地震が発生すると、西側の領域でも大規模地震が発生しています。

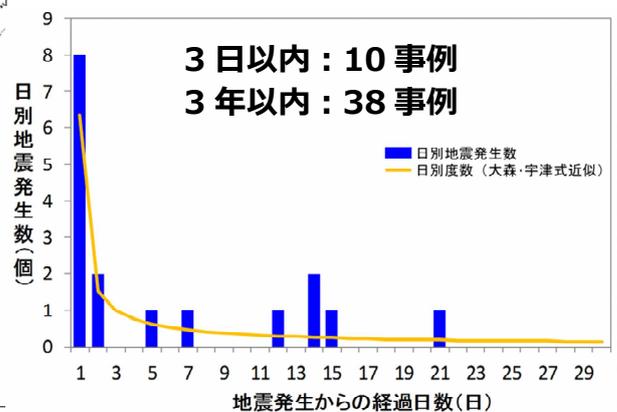
<地震発生からの主な経過(地震発生1日後まで)>

時間軸	事象	内容
直後	津波からの避難(住民)	津波に備え、地域の避難場所へ避難
最短で2時間後	気象庁発表(臨時情報)	「西側で大規模地震発生の可能性が相対的に高まっていると考えられる」と発表
半日後	大津波警報→津波警報へ(気象庁臨時情報は継続)	<ul style="list-style-type: none"> • 津波警報へ切り替え • 大規模地震発生の可能性は依然として高い状況 • 津波から避難中(避難場所)
1日後	津波警報→津波注意報へ(気象庁臨時情報は継続)	<ul style="list-style-type: none"> • 津波注意報へ切り替え • 大規模地震発生の可能性は依然として高い状況 • 一旦帰宅することも可能な状況

南海トラフ東側で大規模地震(M8クラス)が発生



西側はいつ発生するのか？



全世界で1900年以降にM8.0以上の地震(96事例)発生後、隣接領域で同規模の地震が発生した事例数

4 ワークショップの前提条件の整理

災害対応を考えるため、ワークショップの前に、みなさんの身の回りの条件を地図を見ながら整理して、記入してみましょう。(20分程度)

○ あなたの社会的な前提条件

年齢及び性別	(歳) (男 ・ 女)
職 業	
家 族 構 成	○家族の人数(人) ○内訳 ・高齢者(人) ・乳幼児(人) ・小学生(人) ・その他(人)

○ 自宅周辺の災害に対する前提条件

- ・ 自宅は耐震化されていますか？
(耐震性有り ・ 耐震性無し ・ 不明)
- ・ 自宅は土砂災害警戒区域に入っていますか？
(入っている ・ 入っていない)
- ・ 30cm 津波の到達時間は何分ですか？
(分から 分)
- ・ 津波の最大浸水深は何メートルですか？
(メートルから メートル)
- ・ 津波からの避難場所はどこですか？
()
- ・ 地震が起きた場合の避難所はどこですか？
()
- ・ 安全な避難経路を確認していますか？
(確認している ・ 確認していない)

5 ワークショップ

2ページの地震の状況では、高知県には被害はありません。あなたは地震発生後、避難場所へ避難し、1日が経過しました。

この段階で、津波警報は解除され、**前日の地震による津波の心配は少なくなりました。**しかし、南海トラフの西側で**大規模地震発生の可能性が高まっているとの情報が発表**されており、可能性が低くなる見通しは立っていません。

このような状況を踏まえたうえで、ワークショップを始めます。質問に順番に回答してください。

質問 1

この状況で、津波の心配はなくなり、一旦帰宅することも可能ですが、あなたの地域ではどのような方が引き続き避難しておく方が良いと思いますか。該当する番号に○をしてください。(複数選択可) ※避難所や知人宅などに避難することも含みます。

- 1 高齢者、障害者、乳幼児、要介護者その他特に配慮を必要とする方
- 2 子供(小学生)
- 3 耐震性のない建物に住んでいる方
- 4 津波が早期に到達するおそれのある地区の方
- 5 土砂災害のおそれのある地区の方
- 6 そのような方は特にいない
- 7 その他

※「あなたの状況」を質問します。

質問 2

この状況で、津波の心配はなくなり、一旦帰宅することも可能ですが、あなたは引き続き避難しますか。該当する番号に○をして、その理由を記入してください。 ※避難所や知人宅などに避難することも含みます。

1 避難する

【理由】

2 避難しない(できない)

【理由】

ここからの質問は、本日のワークショップの後、ご自宅で家族の方などと相談しながら、回答してください。

次回のワークショップで、みなさんの回答を話し合っていました。

2ページの地震の状況では、高知県には被害はありません。あなたは地震発生後、避難場所へ避難し、1日が経過しました。

この段階で、津波警報は解除され、**前日の地震による津波の心配は少なくなりました。**しかし、南海トラフの西側で**大規模地震発生の可能性が高まっているとの情報が発表**されており、可能性が低くなる見通しは立っていません。

このような状況を踏まえたうえで、質問に順番に回答してください。

質問 3 (改めてお聞きします)

この状況で、津波の心配はなくなり、一旦帰宅することも可能ですが、あなたの地域ではどのような方が引き続き避難しておく方が良いと思いますか。該当する番号に○をしてください。(複数選択可) ※避難所や知人宅などに避難することも含みます。

- 1 高齢者、障害者、乳幼児、要介護者その他特に配慮を必要とする方
- 2 子供(小学生)
- 3 耐震性のない建物に住んでいる方
- 4 津波が早期に到達するおそれのある地区の方
- 5 土砂災害のおそれのある地区の方
- 6 そのような方は特にいない
- 7 その他

(例) ブロック塀の倒壊等で避難が困難になる人
大規模な地震火災のおそれのある地区の方

質問 4

なぜ、あなたは、質問3で選択した方々が引き続き避難する必要があると考えましたか。 ※避難所や知人宅などに避難することも含みます。

【理由】

(例)

- 避難に時間を要する場合や、避難に支援が必要な場合があるため。

質問 5

質問3で選択した方々が、引き続き避難するためには、どのような準備及び支援があれば良いでしょうか。

※避難所や知人宅などに避難することも含みます。

【必要な準備及び支援】

(避難先へ避難するために必要な準備及び支援)

- (例) ・避難所への交通手段(バスなど)の準備、手配
・あらかじめ、避難に支援が必要な方(要介護者、障害者)を地域で把握しておく

(避難先で生活するために必要な準備及び支援)

- (例) 食料品、飲料水、料理用機材、食器、・・・

(その他)

※改めて、「あなたの状況」を質問します。

質問 6 (改めてお聞きします)

この状況で、津波の心配はなくなり、一旦帰宅することも可能ですが、あなたは引き続き避難しますか。該当する番号に○をして、その理由を記入してください。 ※避難所や知人宅などに避難することも含みます。

1 避難する → 質問7へ(11ページ)

【理由】

(例)

- 地震が起きてから避難するよりも、余裕をもって避難ができるため。
- 耐震性がない家に住んでいるため。

2 避難しない(できない) → 質問 15 へ(19ページ)

【理由】

(例)

- 仕事があるため。
- 避難生活でストレスや病気が心配であるため。

質問 7(引き続き避難する方)

どこに避難しますか。該当する番号に○をしてください。また、2～4、6を選択した場合は、市内か市外の該当する方にあわせて○をしてください。

1 市が指定する避難所

(案) 中央公園体育館、室戸高校体育館 等

2 家族宅(市内 ・ 市外)

3 親戚宅(市内 ・ 市外)

4 知人宅(市内 ・ 市外)

5 避難場所にとどまる

6 その他(市内 ・ 市外)

(例) 市の指定する福祉避難所

質問 8(引き続き避難する方)

なぜ、その場所に避難することを選びましたか。

【理由】

質問 9(引き続き避難する方)

避難をしている間仕事はどのようにしますか。該当する番号に○をしてください。

- 1 休暇を取る
- 2 通常どおり仕事を継続する
- 3 仕事はしていない
- 4 その他

質問 10(引き続き避難する方)

避難の仕方はどのようなものですか。該当する番号に○をして、その理由を記入してください。

1 終日避難

【理由】

--

2 夜間のみ避難

【理由】

--

3 その他

【避難の仕方】

【理由】

質問 11(引き続き避難する方)

どれくらいの期間であれば、質問7の避難先でさらに避難生活を送れますか。該当する番号に○をしてください。

(引き続きの避難を開始してから)

1 1～3日

2 4～7日

3 7日～2週間

4 2週間～1ヶ月

5 1ヶ月以上

6 その他

質問 12(引き続き避難する方)

なぜ、質問11の期間を選びましたか。該当する番号に○をしてください。(複数選択可)

【理由】

- 1 避難生活の負担(心身のストレス、プライバシー)のため
- 2 通院・持病のため
- 3 仕事や学校のため
- 4 避難先の家族や知人への負担が懸念されるため
- 5 その他

--

質問 13(引き続き避難する方)

避難をするためには、どのような準備及び支援が必要ですか。該当する番号に○をしてください。(複数選択可)

【準備及び支援内容】

- 1 避難するための交通手段(バスなど)

- 2 避難先での食料、生活用品等

- 3 その他

(例)

避難した地域の治安の維持

質問 14(引き続き避難する方)

避難をする場合、仕事や暮らしにどのような影響が考えられますか。

【仕事や暮らしへの影響】

質問 15(避難しない(できない)方)

なぜ、避難しないのですか。(できないのですか)該当する番号に○をしてください。(複数選択可)

- 1 地震や津波がいつでも起きてても避難できるため
- 2 持病、通院のため
- 3 家族の介護などの世話のため
- 4 仕事、学校があるため
- 5 住み慣れた環境(地元)から離れたくないため
- 6 避難先へ行く手段がないため
- 7 避難先の生活が不安なため
- 8 その他

(例) ペットがいるため。

質問 16(引き続き避難しない(できない)方)

「避難できない方が」避難できるようにするためには、どのような準備及び支援が必要ですか？

又は、「避難しない方は」どのような準備及び支援が必要ですか？

【準備及び支援内容】

＜避難できるようにするために必要な準備・支援＞

(例) 避難所までの移動手段確保

＜避難しない方が必要とする準備・支援＞

(例) 自宅の耐震化、水や食料などの備蓄物資の確認、避難経路の確認、家具の固定

質問 17(引き続き避難しない(できない)方)
仕事や暮らしにどのような影響が考えられますか。

【仕事や暮らしへの影響】

質問 18(全員にお聞きします。)

質問3で「地域で引き続き避難する必要がある方」、質問5でその方が「引き続き避難するために必要な準備及び支援」についてお答えいただきました。

その回答と以下の地域の状況を踏まえ、地域(自主防災組織)でできる避難のための準備や支援はどのようなことがありますか。

【地域の状況】

- 総人口 619人
- 高齢者 293人(高齢化率 約47.3%)
※各地区の高齢化率から推計
- 要配慮者のうち個別避難計画を作成している方 105人
- 地域では、30cmの津波が5分から10分で到達するところがあります。

【地域でできる準備及び支援】

次の質問19は、これまで考えてきた状況とは別のケースを考えます。

次回のワークショップで検討をしていただく予定です。

ここからは以下のケースを想定して、お答えください。

○ 検討する地震の状況

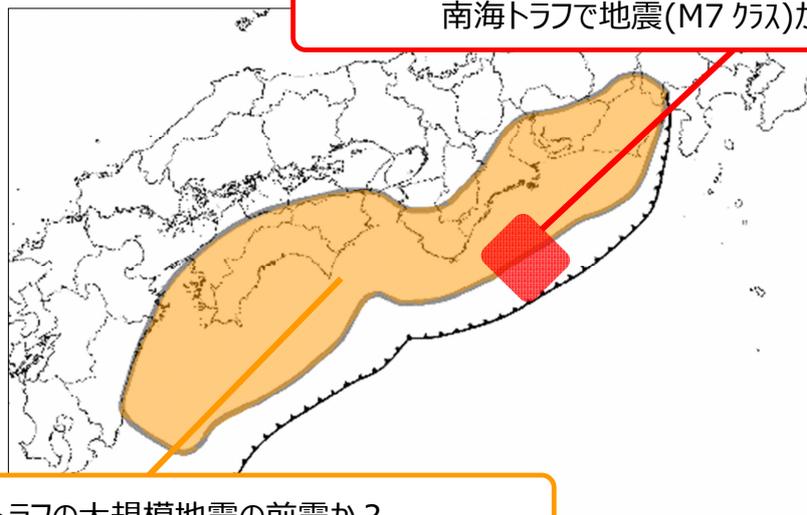
(南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応のあり方について(報告)より)

・三重県南東沖でM7 の地震が発生。

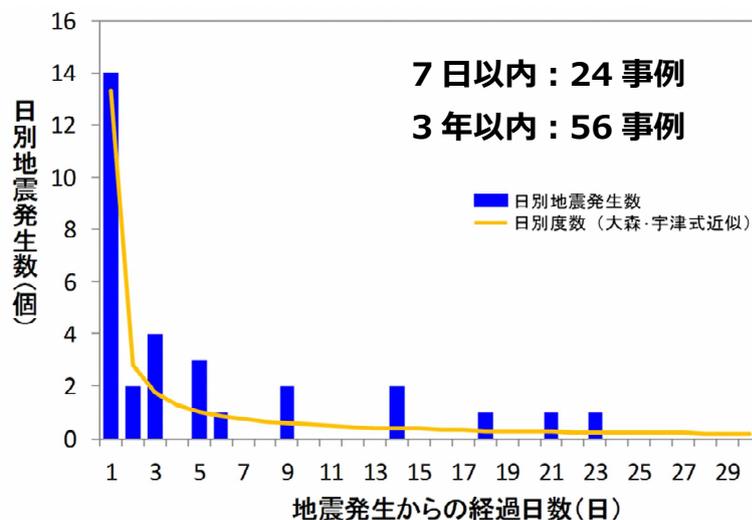
※南海トラフ沿いでは確認されていないが、世界全体では、M7.0以上の地震発生後に、さらに規模の大きな地震が同じ領域で発生した事例がある。

※日本でも、東北地方太平洋沖地震が発生した際は、その2日前にM7クラスの地震が発生していた。

・室戸市は震度3、津波注意報の発表なし。被害なし。



南海トラフの大規模地震の前震か？



この地震の状況では、室戸市は震度3で地震の被害はありません。また、この地震による津波の心配はなく、あなたは避難をせず、自宅にいる状況です。

しかし、大規模地震発生の可能性が高まっているとの情報が発表され、可能性が低くなる見通しは立っていません。

このような状況を踏まえ、以下の質問に答えてください。

質問 19

この状況で、あなたは事前に避難しますか。該当する番号に○をして、その理由を記入してください。

1 避難する

【理由】

(例)

- 地震が起きてから避難するよりも、余裕をもって避難ができるため。
- 耐震性がない家に住んでいるため。

2 避難しない(できない)

【理由】

(例)

- 仕事があるため。
- 避難生活でストレスや病気が心配であるため。